

あくろいし 市議会たより



vol. 28

令和2年3月1日発行



第15回議会報告会を開催しました。(関連記事は7ページに掲載)

表紙の写真を募集しています

- ◆応募資格…市内に在住、勤務、在学している人
- ◆応募作品…市内で撮影された風景、まつり、行事などのデジタル写真データ
- ◆応募方法…タイトル、撮影場所、撮影日、住所、氏名、電話番号を明記の上、メール、持参(議会事務局まで)等してください。
- ◆メールアドレス…kuro-gikai@city.kuroishi.aomori.jp
- ◆注意事項…肖像権、著作権を侵害しないよう撮影者自身で被写体の承諾等を得てください。詳細はホームページまたは議会事務局へお問い合わせください。

目次	第4回定例会議案審議 など	2～3
	一般質問など	4～6
	議会報告会	7
	議員活動報告書	8

第4回定例会議案審議

議決された議案の中から

主なものを紹介します。

○令和元年第4回定例会

会期17日間

12月3日～12月19日

○第4回定例会で議決した議案等

市長提出議案等31件の中から
主なものをお知らせします。な
お、議案等に対する各議員の賛否
状況については次ページ下に記
載しております。

また、全ての議案名とその結果
は、市議会ホームページでごらん
ください。

西十和田トンネル（仮称）の
早期建設を求める意見書を
可決・提出しました

地域経済の発展と広域観光の振興の
ため、西十和田トンネル（仮称）の早
期建設を求める意見書を原案のとおり
可決し、青森・秋田両県に対し意見書
を提出しました。

建設が実現されれば、特別豪雪地帯
に位置しているため、4カ月余りの冬
期閉鎖を余儀なくされている山岳道路
区間の解消や東北縦貫自動車道弘前線
と八戸線への連絡が容易となるほか、
北海道新幹線開業効果による十和田八
幡平圏域においての観光振興と経済波
及効果が大きく期待されるとともに、
山間部における災害時の避難路として
も、その重要性はますます高まってい
ます。

なお、平成29年7月に当市において
青森・秋田両県の関係9市町村議会の
議長により、「西十和田トンネル建設
促進市町村議長同盟会」が設立され、

本区間のトンネル整備は周辺自治体及
び住民の切実な願いとなっております。

選挙管理委員会委員及び
補充員が決定しました

12月19日の本会議において、選挙管
理委員会委員及び補充員の選挙を行っ
た結果、次の方々が当選人と決定しま
した。

◎選挙管理委員会委員の住所・氏名

乙大工町9番地	山田 明 匡
高館字乙里見 32 番地 1	猪 股 正 大
浅瀬石字清川 239 番地 4	北 山 雄 一
境松一丁目2番地3	鈴 木 盛 人

◎補充員の住所・氏名（数字は順位）

① 下目内澤字小屋敷家岸 36 番地 7	高 橋 晃 司
② 三島字川岸 93 番地 1	須 藤 俊 博
③ 長崎二丁目 56 番地 37	工 藤 廣 道
④ 元町 94 番地	山 谷 邦 夫

**固定資産評価審査委員会委員
を選任しました**

地方税法の規定による、固定資産評価審査委員会委員の選任について同意しました。

住所 北美町二丁目78番地14
氏名 千葉 久子
生年月日 昭和27年2月21日
任期 令和4年12月20日まで

**公民館等の指定管理者が
決定しました**

黒石市の公の施設における指定管理者の指定の手續等に関する条例（平成16年黒石市条例第30号）第4条第1項の規定に関する議案として、9件の指定管理者の指定が提出されました。

市議会では、審議の上、各議案とも原案のとおり可決しました。

◎ 指定管理者一覧（順不同）

公共施設名	指定管理者名
黒石市農村環境改善センター	六郷地区振興協議会
黒石市立中郷公民館 黒石市北地区小体育館	北地区振興対策協議会
黒石市立山形公民館	山形地区住みよい環境推進協議会
黒石市立浅瀬石公民館	浅瀬石地区振興協議会
黒石市立東公民館	東地区連絡協議会
黒石市立中部公民館	中部地区振興協議会
黒石市立牡丹平公民館	牡丹平地区社会教育振興協議会
黒石市立上十川公民館	上十川地区振興協議会
黒石市西部地区センター	西部地区連絡協議会

その結果、公民館等の指定管理者は左の表のとおりとなります。
なお、期間は令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間となります。

議案等に対する各議員の賛否状況

○は賛成、●は反対。－は採決に加わらなかったもの。
議長（工藤和子）は採決に加わっていません。
※賛否が分かれた議案等のみを掲載しております。

	採決結果	工藤和子	黒石ナナ子	三上廣大	大平陽子	工藤禎子	大久保朝泰	大溝雅昭	佐々木隆	今 大介	工藤和行	工藤俊広	北山一衛	中田博文	後藤秀憲	村上啓二	村上隆昭
西十和田トンネル（仮称）の早期建設を求める意見書の提出について	可決	－	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問

8人が市政を問う

第4回定例会において行われた一般質問の中から、1議員につき2項目程度の質問及び答弁の要旨を質問議員が自ら作成し、掲載しています。内容等でご不明な点は、議員に直接お尋ねください。

また議会ホームページでは、会議録の公開を行っております。一般質問の内容はPDFファイルにてごらんいただけます。

携帯電話やスマートフォンで下記QRコードを読み取っていただくと簡単に掲載サイトに接続できます。



黒石ナナ子 議員
新自民・公明クラブ

一括方式

問

ハザードマップの見直しを考
えているか

答

十川において北地区の一部が洪水想定区域の範囲になったことから新たに洪水ハザードマップを作成することとしております。

問

タイ王国へのりんご輸出成果
とムツニシキについて

答

今回、「サンふじ」4トンを出し、来年以降も継続する予定です。今後は「玉林」などの黄色系品種の輸出も計画し、将来的には他農産物や加工品も視野に入れ取り組んでまいります。

その他の質問

- ① イザベラ・バード来黒記念モ
ニユメントについて
- ② 当市の小中学校いじめについて
- ③ オレンジリボン運動と児童虐待
について

問

歴史的景観形成計画の目的と
こみせの整備状況は

答

歴史的・文化的資源を活かし、中心市街地の活性化を図るため策定しました。こみせ通りは、今年度管路を埋設し、来年度通線工事等終了後、道路美装化を実施し、修景にも長期的に取り組みます。

問

国の調査でいじめや不登校の
件数が過去最高となっている
が、新黒石小・新黒石東小への
対策は

答

統合を起因としたいじめ、不登校への対策として、教師の見立てと児童生徒の実態を一致させる調査と分析を行い、その結果を基に、各学校に主体的な取り組みを促す新規事業を実施する予定です。

その他の質問

- ① 手話言語条例に基づく施策に
ついて



大溝 雅昭 議員
新自民・公明クラブ

一問一答方式



大平 陽子 議員
黒石自民クラブ

一問一答方式

問 ひきこもりの実態について

答 平成28年に民生委員を通じて概数調査した結果、19名でした。次年度に再度調査を予定しています。

問 旧上十川小・旧六郷中の利活用の方向性と統合後の学校備品を市民へ譲渡してはどうか

答 今後閉校となる各学校と合わせて、再度、検討しますが、利活用がなければ売却する方針です。学校備品はまず統合校に、その後、市内の小・中学校、地区協議会の順に必要な備品を活用していきます。残っている備品は今後の利活用等のため、現時点では譲渡などは考えておりません。

その他の質問

①閉校後の学校体育施設開放について

②六郷小学校給食用厨房爆発事故について



工藤 俊広 議員
新自民・公明クラブ

一問一答方式

問 防災情報の更新について

答 新たに洪水浸水想定区域となった地域に周知を図ってまいります。

問 学校防災の強化について

答 統合後の新たな学校防災マニュアルを策定してまいります。

問 新設黒石小学校通学路における安心・安全対策について

答 新たな通学路の把握に努め、安全対策の検討や横断歩道の新設等について警察と協議しています。

問 高校等での期日前投票について

答 今後、高校側と協議を重ね実施できるように検討してまいります。



今 大介 議員
黒石自民クラブ

一括方式

問 令和2年4月からスタートする学校給食費の単価は

答 市が一括して食材の仕入れを行うスケールメリットにより、現在、最も低い単価で提供している金額で対応可能と考え、全学校統一して280円とする方針です。

問 ムツニシキの今後の取り組みは

答 地元酒造店において、日本酒の醸造に取り組むとともに、県内はもちろん県外にも広くPRしてまいります。





工藤 禎子 議員

日本共産党

一問一答方式

問 地域医療構想に基づく黒石病院の必要性について

答 市民や周辺地域住民にとって必要不可欠な病院だと考えており、市民のニーズに沿って適切に維持していく必要があることを訴えていきたいと考えています。

問 旧大黒デパート解体について

答 費用は全体で約6億9千万円であり、工期は18カ月程度と見込んでおります。

問 保育料無償化に係る市負担軽減分を副食費へ充当している自治体があるが、市としての考えは

答 副食費はこれまでも徴収されており、国の負担軽減策もあることから、市独自の実施は考えておりません。



三上 廣大 議員

黒石市民倶楽部

一問一答方式

問 小学校適正配置により実施される学校給食において、21品目のアレルギー対応をしている自治体もあるが、当市の対応はどのようになっているのか

答 特に重篤化しやすい7品目については代替食で対応し、それ以外のアレルギー対応については事前の献立を保護者に提示した上で、保護者に弁持参にするかどうかを判断していただきたいと考えております。



中田 博文 議員

新自民・公明クラブ

一問一答方式

問 ふるさと納税における今年度の見込み額は

答 12月15日現在、約6080万円となっており、前年度同時期の約1・8倍であることから、寄附金の総額を約1億2000万円と見込んでおります。

問 ワイン用ぶどう、シャインマスカットの試作状況について

答 ワイン用ぶどうは取組みから4年目で2品種10本程度の試作品が完成しました。今年度から取り組んでいるシャインマスカットについては、来年度から展示圃を技術研修の場として、栽培希望者に情報発信したいと考えております。



第15回「議会報告会」を開催しました

12月21日（土）に開催し、49名の方々にご参加いただきました。佐々木隆議会改革推進特別委員長の司会のもと、まず、工藤和子議長、今大介副議長から3月、7月、9月、12月定例会における審議議案等の説明があり、決算特別委員長を務めた大久保朝泰議員、副委員長を務めた三上廣大議員から令和元年度予算、平成30年度決算の報告を



【第1部】議会報告の様子

行いました。その後、新たな試みとして、各常任委員会が所管している内容からそれぞれテーマを決め、参加者が希望のテーマに分かれて意見交換を行いました。参加者からさまざまな質問、意見が出され、全体報告した後、終了となりました。頂戴した内容の一部を各委員会でもまとめましたので、ごらんください。幅広い世代の方との市政に対する意見交換ができ、大変ありがとうございました。市議会では、今後も市民の皆さんに議会に関心を持っていただけるよう努めてまいります。



【第2部】意見交換の様子
地域おこし協力隊の方々にも参加いただきました

総務教育常任委員会

テーマ①：市立図書館について

- ・ワークショップをもっと開いて声を聞いてほしい
- ・館長を全国から公募し、司書は絶対に配置してほしい
- ・友達と勉強できるスペースがほしい（参加した高校生の意見）

経済建設常任委員会

テーマ②：農林と商工観光について

- ・中野もみじまつり期間における会場周辺の渋滞を緩和してほしい
- ・物産販売における関係機関の連携強化を図ってほしい
- ・市ホームページを見やすくしてほしい
- ・バイオ技術センターの利活用を図ってほしい
- ・小規模農家に対する助成事業を実施してほしい

民生福祉常任委員会

テーマ③：子育て支援について

- ・保育園やりんごクラブの時間延長など、働きながら子育てしやすい環境の整備を望む
- ・最低でも中学生までの子ども医療費給付事業の拡充をお願いしたい

議員活動報告書

▶ 日本共産党

・工藤 禎子

視察先

- ・佐賀県武雄市
「武雄市図書館について」
- ・佐賀県伊万里市
「伊万里市民図書館について」
- ・長崎県大村市
「ミライON図書館について」

期間

- ・令和2年1月14日～16日



伊万里市立図書館

武雄市図書館(TSUTAYA指定管理)、伊万里市民図書館(直営)、ミライON図書館(県立・大村市と共有)の3つの図書館を視察しました。「図書館は指定管理にしているのか」「(どういう図書館を目指すのか)」、「司書の配置は不可欠」、「レファレンスの必要性」などを学んできました。

伊万里市民図書館設置条例の第1条は『全ての市民の知的自由を確保し、文化的かつ民主的な地方自治の発展を促すため、自由で公平な資料と情報を提供する生涯学習の拠点として設置する』とされています。館長は「そのために直営でなければいけないのです」と強調されていました。当市の図書館づくりの参考にしたいと思います。



武雄市こども図書館の様子

議員活動報告書

▶ 黒石自民クラブ

- ・村上 隆 昭
- ・村上 啓 二
- ・工藤 和 子
- ・工藤 和 行
- ・今 大 介
- ・大 平 陽 子

視察先

- ・宮崎県都城市
「市立図書館について」
- ・鹿児島県始良市
「子育て基本条例について」

期間

- ・令和2年1月28日～30日

市立図書館は、中心市街地活性化基本計画の中核施設として、旧百貨店を図書館として改修する事により、約31億円の整備コストを約10分の1縮減しました。開放的な吹き抜け空間、カフェなど、国内の図書館では初となる2次元バーコードで蔵書検索できるインデックス等が整備されていました。

子育て基本条例は、平成25年に制定した国内でも数少ない条例です。自立する子どもの育成を目的としており、基本理念を定め、社会全体で子育てを進め、家庭・学校・地域社会・事業者及び市の役割と責任を明らかにしています。

当市においても、これから取り組む図書館への必要な設備、また、子どもの健全育成を図るための協働についてとても参考になりました。



都城市立図書館

編集後記

4年ぶりに「議会だより」に携わることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。当時は2色の紙面でしたが、第20号からの一部カラー化により、楽しく読んでいただいているのではないのでしょうか。これからも掲載記事の内容に委員一同、力を注いでいきます。皆さまからのお声をお待ちしております。(黒石ナナ子)

議会だより 編集特別委員会

委員長	今 大介
副委員長	三上 廣大
委員	大平 陽子
〃	黒石ナナ子
〃	大溝 雅昭
〃	工藤 禎子